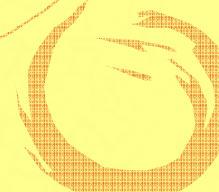


子どもデイケア事業の取り組み ～ 5年間の活動を振り返って～

宮城県子ども総合センター
高橋 あつ子

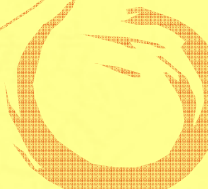
はじめに

- 平成15年9月より開始
- 小・中学生を対象

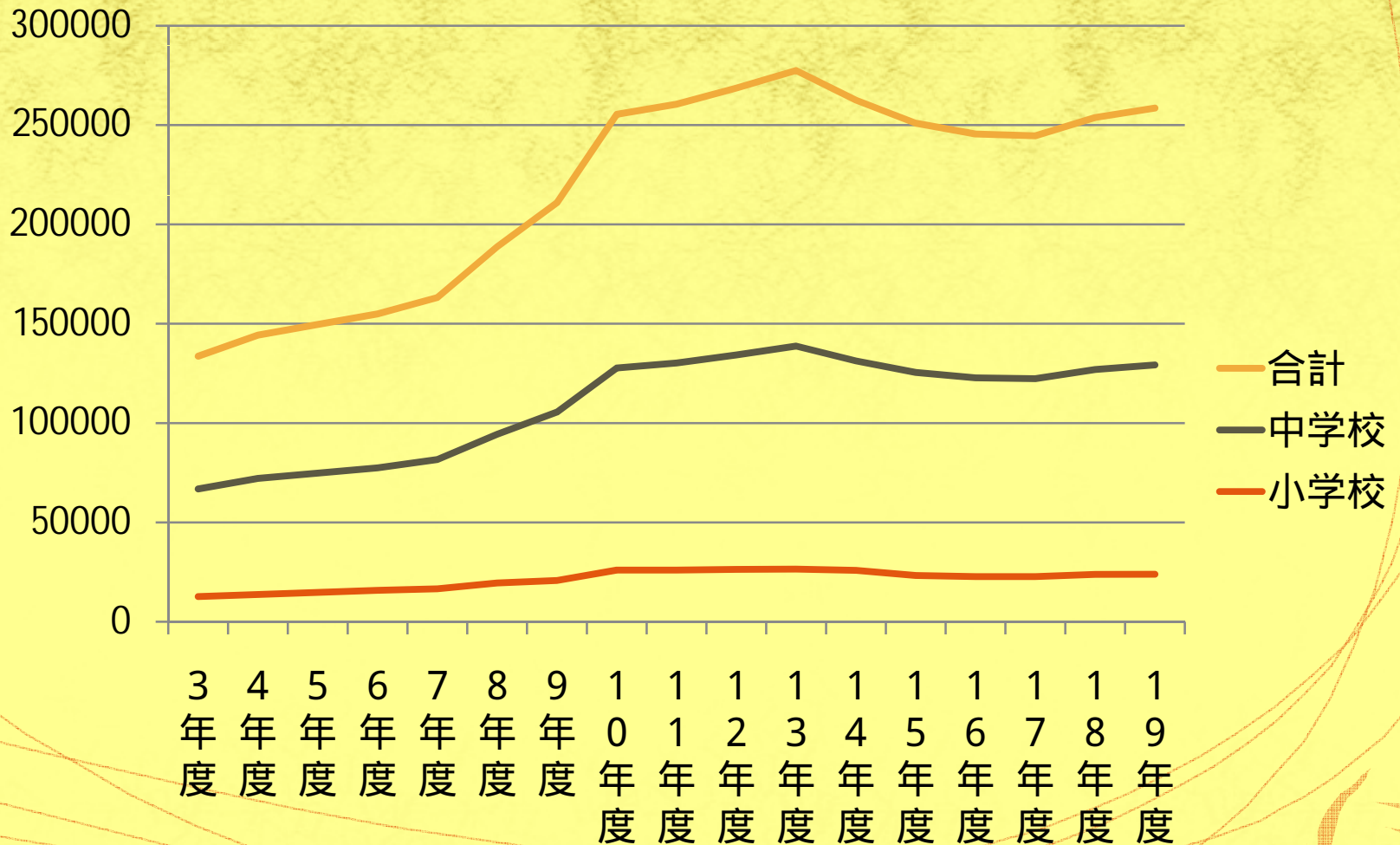


子どもデイケアの事業実施経緯

- 平成9年度～10年度
「宮城子ども総合支援機能あり方検討委員会」設置
- 平成11年度～12年度
具体的組織検討
- 平成12年4月
「子どもメンタルクリニック」暫定実施
- 平成13年4月 「子ども総合センターの設立」
- 平成14年4月 「石巻診療所」開設
- 平成15年9月 「デイケア事業」開始
- 平成18年4月 「気仙沼診療所」開設
「大崎診療所」に名称変更



不登校児童・生徒数の推移



子ども総合センター組織

宮城県子ども総合センター

宮城県中央児童館（附属施設）

子どもメンタルクリニック

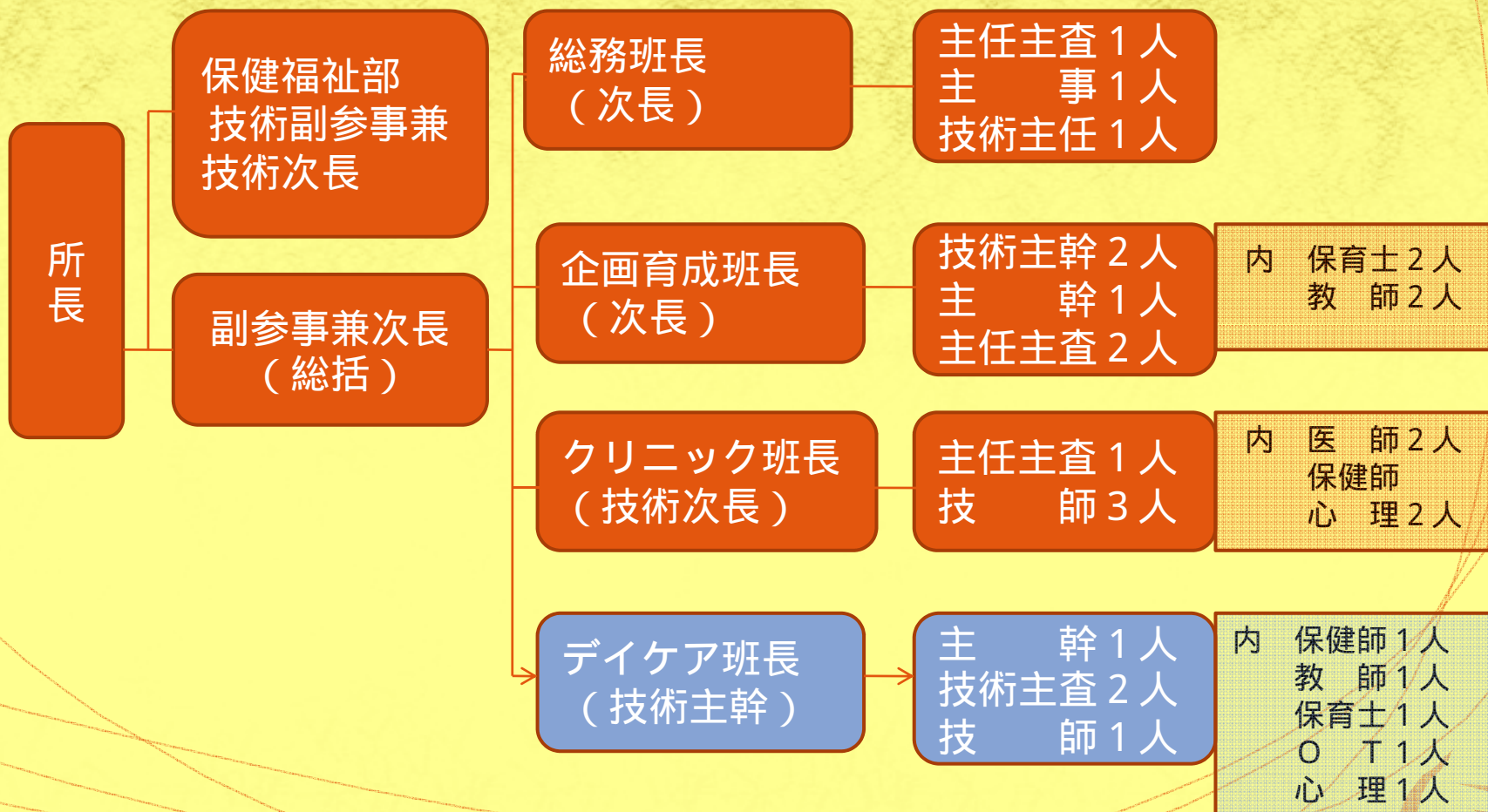
宮城県子ども総合センター附属診療所

宮城県子ども総合センター附属診療所大崎診療室
（宮城県北部児童相談所内）

宮城県子ども総合センター附属診療所石巻診療室
（宮城県東部合同庁舎内）

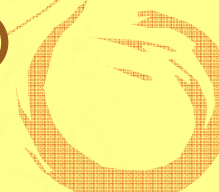
宮城県子ども総合センター附属診療所気仙沼診療室
（宮城県気仙沼保健福祉事務所内）

子ども総合センター組織



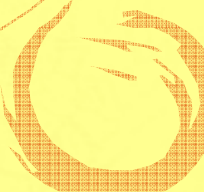
子ども総合センターの業務内容

- 子どもメンタルクリニック
(成長発達に関する相談や診療)
- **子どもデイケア**
(生活技能や適応能力の向上を目指す)
- 児童健全育成
(健全育成事業や人権擁護の普及・啓発)
- 不登校児童等支援
(けやき教室の運営や家族支援)
- 母子保健・児童虐待予防
(産後うつ病などの早期発見や職員の資質向上)
- 専門職研修
(児童に関わる専門職員の研修や事例検討等を実施)



子どもデイケア利用対象者

- 精神科医療機関に通院中の小・中学生で、不登校、発達障害、統合失調症等により集団生活に支障をきたしている者



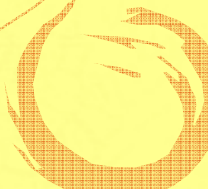
思春期の心の問題に関する症状

- 身体症状：頭痛、腹痛、めまい、吐き気
- 不安・恐怖：分離不安、パニック発作
- 対人恐怖：視線恐怖、過度の内気
- 強迫症状：手洗い、確認など
- 転換・解離症状：不全麻痺、記憶障害
- 抑うつ症状：無気力、自己否定、自殺願望
- 神経性習癖：チック、抜毛、夜驚
- 問題行動：自己・家族・社会へ向かう攻撃性
- 精神病症状：自我障害、幻覚、妄想

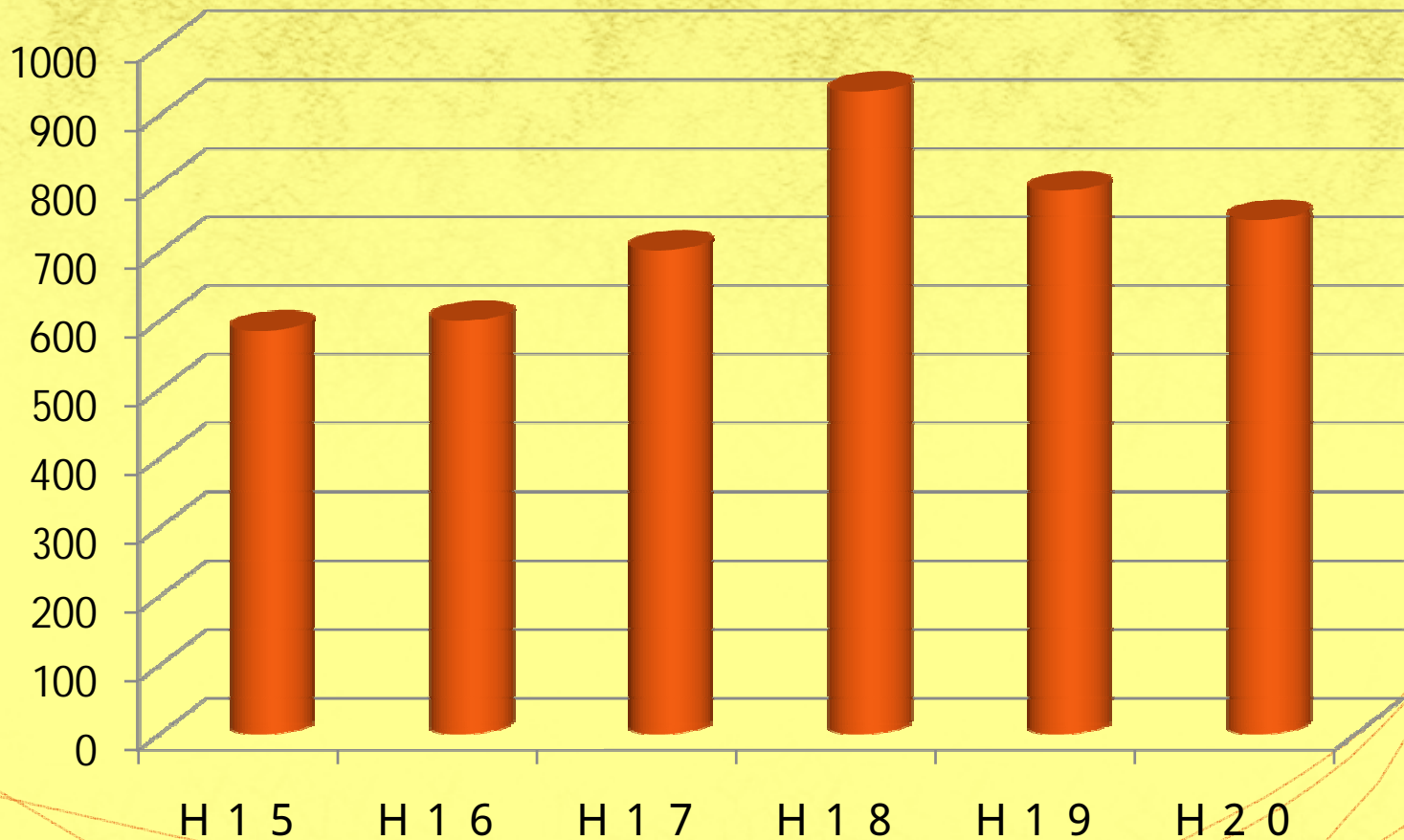
発達障害について

（アスペルガー症候群・高機能自閉症）

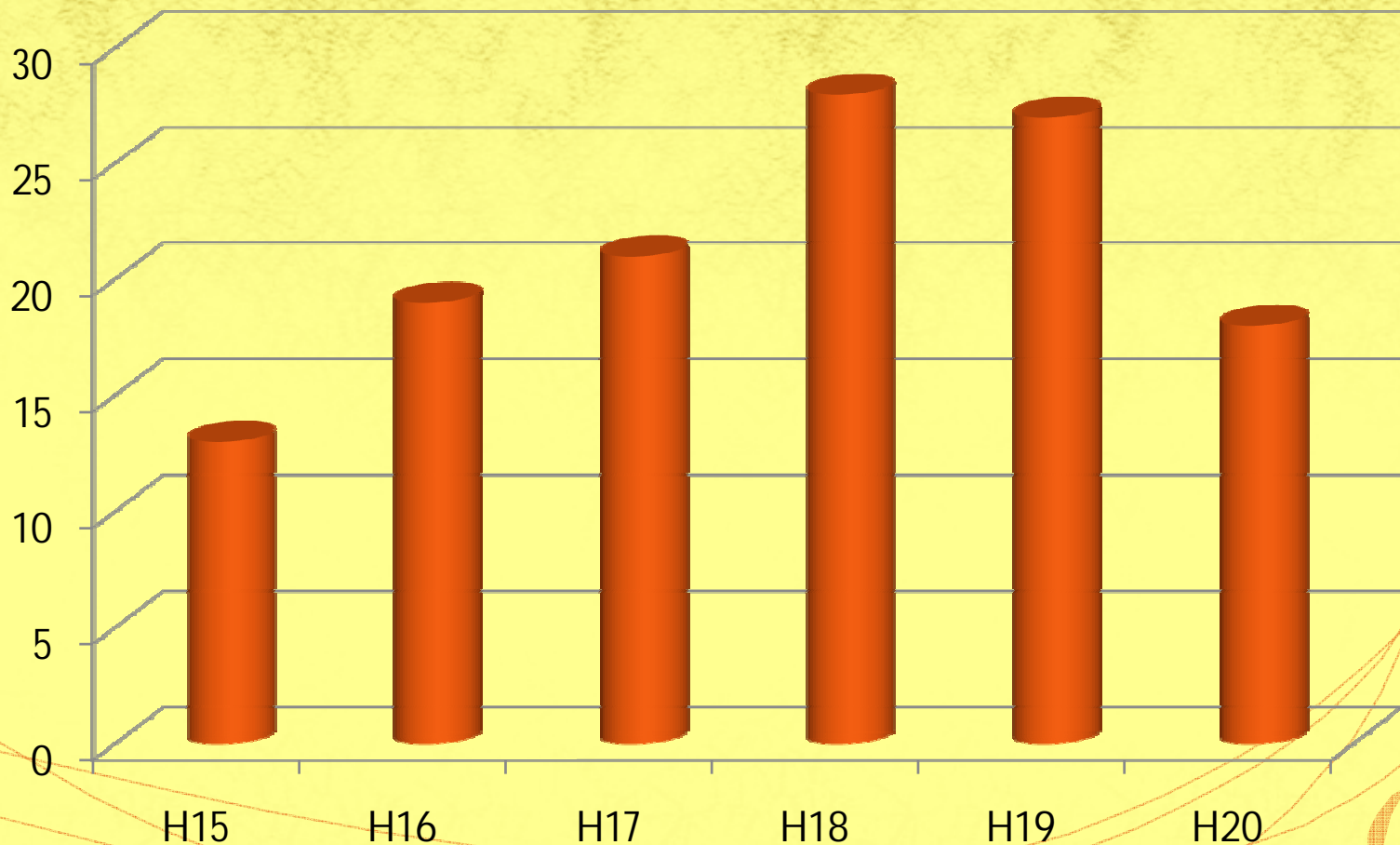
- 知的な遅れは見られないものの、その場に合った行動がとれない、相手の気持ちを推し量ることが苦手、興味関心が極度に偏っているなどの特性のため、学校などの集団場面において不適応行動を呈している場合がある。



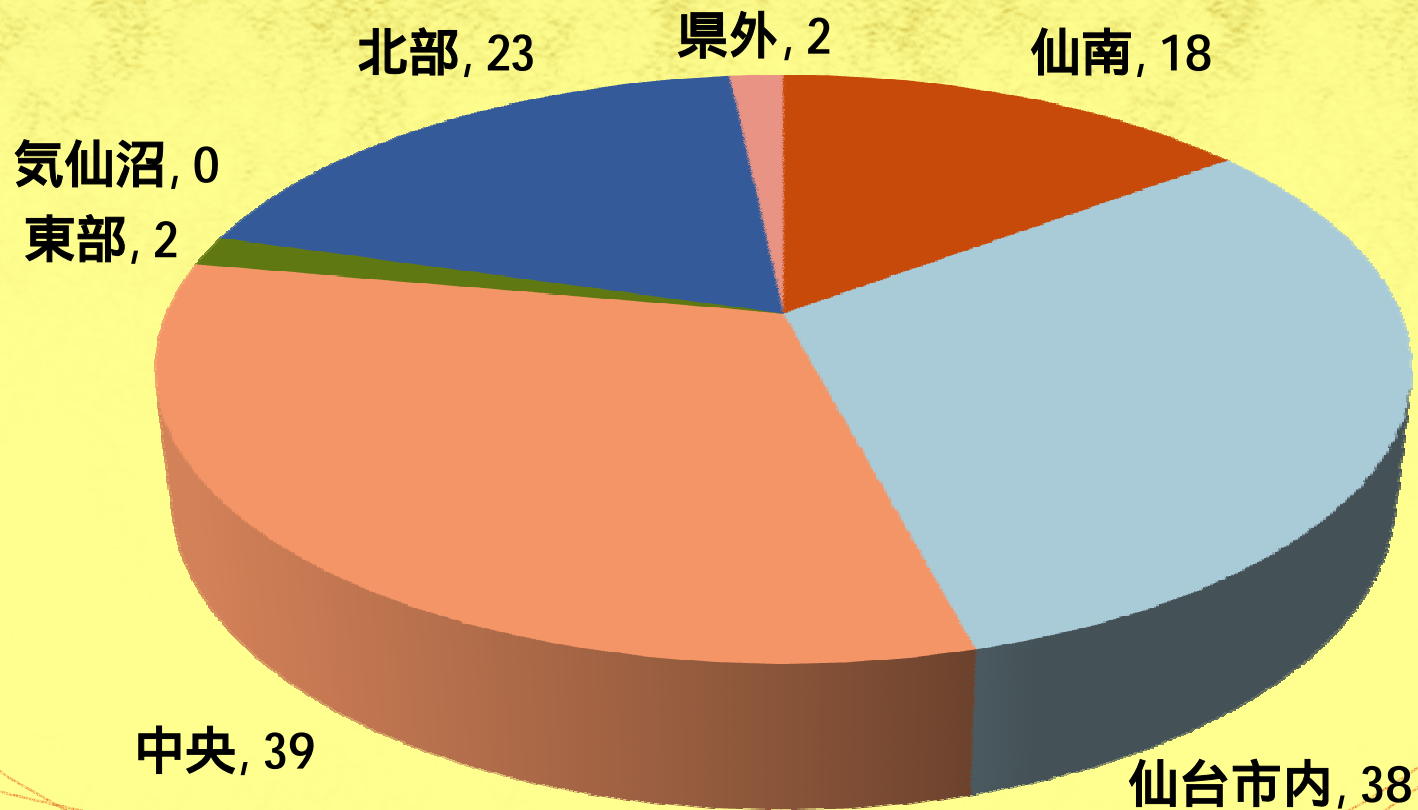
子どもデイケア利用者数の推移 (延べ人数)



子どもデイケア利用者数の推移 (実人数)



利用者の内訳



子どもデイケア利用の流れ

利用希望

見学

主治医と相談

利用申し込み

診察・面接

受け入れ会議

利用開始

評価

終了会議

終了

子どもデイケアの特性

大人のデイケア



日常生活機能の維持
症状悪化の防止

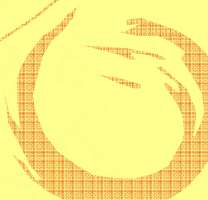
子どものデイケア



発達を支える
適応的变化を促す

子どもデイケアの治療目標

- 子どもデイケアの治療目標
 - ・ 治療的雰囲気作り
 - ・ 自信及び対人関係の回復
 - ・ 家族機能の充実
 - ・ 関係機関とのネットワーク構築
- プログラムについて



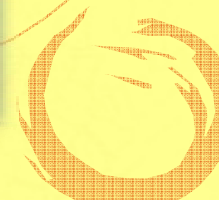
子どもデイケアの治療プログラム

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
9:30 10:00	各自通所		評価会議 スタッフ 会議	各自通所	
	朝のミーティング			朝のミーティング	
12:00	集団精神療法 ヨガ 実験クラブ	集団精神療法 ポケットタイ ム(SST)	事例検討 会 家族の集 い(年3 ~4回) 家庭訪問 (必要 時)	集団精神療法 くつろぎサロ ン(創作活動) クラブ活動	集団精神療法 おにぎりクラ ブ(調理) 園芸クラブ
	昼食			昼食	
13:30	学習(個別)	学習(個別) 音楽クラブ (月1回)		学習(個別) 運動クラブ(月 1回) 所外活動(月1 回・1日)	ボランティア 体験(月1回、 1日)
15:00	帰りのミーティング			帰りのミーティング	
	カンファレンス		カンファレンス		
16:00	記録整理			記録整理	

子ども総合センターの外観



2009/2/10



デイルームの入り口



デイケアルーム



2009/2/10

学習ルーム



2009/2/10

活動の様子 「実験クラブ」



活動の様子 「園芸クラブ」



活動の様子 「所外活動」



活動の様子 「おにぎりクラブ」



活動の様子 「音楽クラブ」



子ども達の作品（折り紙）



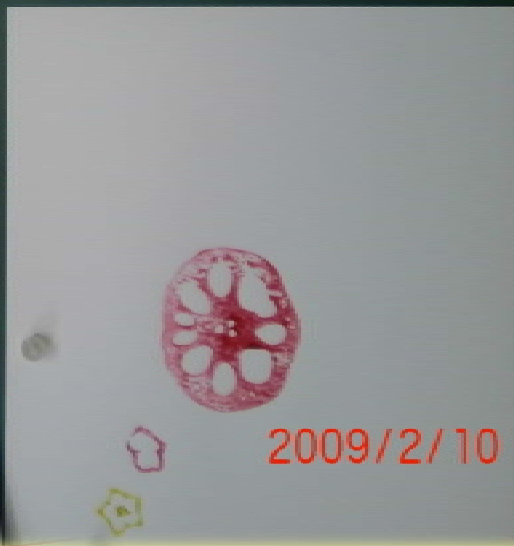
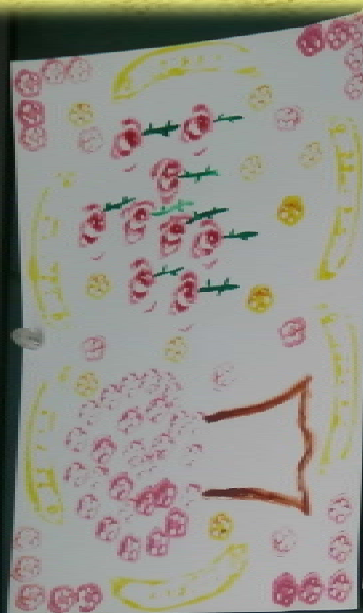
2009/2/10

子ども達の作品（モザイクろうそく）



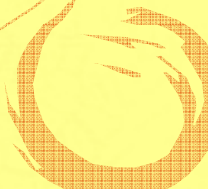
2009/2/10

子ども達の作品（野菜スタンプ）



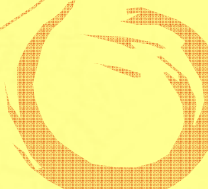
子どもたちの変化

- 学校への復帰
- 表情の変化
- 感情のコントロールができる
- 学習の習慣がついた
- 家の外の世界に目が向く
- 体力がついた
- 子ども同士のやりとりが増えた
- 家族との関係が良くなった



今後のあり方について

- 利用者の日々の変化を共有したチームアプローチを大切にする
- 個々の利用者の適切な実態を評価し、より利用者の課題や方向性を明確にする
- デイケアを卒業した先も視野に入れたデイケアでのゴール設定の視点をもつ
(適切な評価をどのようにするか)



おわり

< 2009・2・13 >

於：宮城広報室

